



絶滅危惧種
京丹後のハヤブサ

ハヤブサ

ニュース No.51

2020. 8. 24

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒 602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

Xバンド基地での 新型コロナ集団感染 求められる基地の閉鎖と 日米地位協定の抜本改正

池田高巖

さる7月27日、米軍Xバンドレーダー基地に所属する米軍人の新型コロナウイルスへの感染が明らかになった。京丹後市における初めての新型コロナ感染者である。感染はその後も拡大し、現在の時点で米軍人・軍属13人、その接触者2人の感染が公表されている。

京丹後市においてはすべての軍人・軍属が基地の外で居住し、基地との間を行き来している。こうしたなかで住民の間で不安が増大するのは当然である。

これに対して、このかんの米軍や近畿中部防衛局の対応は、感染拡大防止を真剣に考えているとは到底言えないものである。米軍は京丹後市からの強い要請があるまでは軍属全員を対象としたPCR検査を実施してこなかった。また、米軍側の検査によって感染が判明した米軍関係者の濃厚接触者等の詳細な情報について、米軍は保健所からの照会にさえ応じていない。また、軍人全員がPCR検査を行ってから二週間以上経過した後で新たな感染者が発生するなど、米軍が真剣な対策が疑われる事態も起きている。近畿中部防衛局はただ米軍の代弁をしているだけだ。

このような米軍や近畿中部防衛局の不誠実な態度の中で、私たちは米軍・防衛省に対して基地の閉鎖を含む感染防止対策の徹底を強く要求する。

これに関連し、基地建設当初に米軍・近畿中部防衛局が住民に示した「約束」が実際には守られていないことが、住民の不安を助長してい

ることも指摘しなければならない。

米軍Xバンドレーダー基地に所属する軍人・軍属は、すべて基地の外に居住し、基地との間を行き来している。その中には勝手に民間住宅に居住している軍属も多く存在する。それは当初の防衛局の説明とは異なる「約束違反」であり、その居直りである。京丹後市でさえ公式にはそうした軍属がどこに何人いるのかを把握できない。

米軍がコロナ感染に関する正確で詳細な情報を提供していないことに加えて、このような現実が新型コロナウイルスの感染拡大防止対策にも困難をもたらすものであることは明らかである。同時に、このかんの事態は、不平等な日米地位協定の存在が、新型コロナウイルスの感染拡大防止にとっても桎梏となっていることを示している。

米軍に特権を与えている日米地位協定の下で、米軍は日本への入国に際して検疫を含むすべての手続きを免除され、国内外を自由に移動している。日本の国内法の適用を受けずに好き勝手に振る舞う米軍の存在が、コロナ感染拡大の要因のひとつとなっている。沖縄ではすでに約350人の米軍関係者の感染が明らかになっており、京丹後でも深刻な事態が発生した。

第一次裁判権が日本側に無いなど不平等な日米地位協定の存在はこれまででも、各地で米軍による住民無視の横暴を助長してきた。現在のコロナ禍の中で、日米地位協定の抜本改正の自由要請・喫緊性があらためて浮かび上がっている。全国知事会はすでに2018年に「日米地位協定の抜本の見直しを求める提言」を日米両政府に対して提出している。

今こそ声を上げ、日米地位協定の抜本改正の実現を強く要求すべき時だ。

8月21日（金）京丹後訪問の報告

文責 白井美喜子

この日も暑い暑い一日でした。元気に集まった8人で京丹後市に向かいました。道中の高速道路も車が結構多く、みんなどこに向かうのかな？と話しながら、2台の車に分乗して京丹後へ。

このところ雨も長期間降らないのに、山は緑に盛り上がっていました。

「てんきてんき村」で昼食。芝生の上の木陰で食事をとりましたが、京都市内に比べて3～5℃は違うのでは？と思うほど涼しく感じました。海風や芝生のお陰でしょうか？

当初はこの日の京丹後訪問に合わせて、京丹後市との話し合いの場を持ってないかと追及してきましたが、市の都合が付かず実現しませんでした。

米軍 X バンドリーダー基地の軍人・軍属らの新型コロナウイルス感染問題について、京都連絡会で7月31日に京丹後市、京都府、防衛省へ申し入れ書を送っています。その回答を含めて京丹後市との話し合いを追求したのですが、この日は「京丹後市議会の総務委員会が入っていて無理だ」と基地対策室から返答があり、残念ながら実現しませんでした。別途、相談することにしました。

「てんきてんき村」の近くの空き地に JA 間人支店女性部のメンバーがつくられた案山子が、人目を引きました。「コロナに負けないぞ！」など、京丹後の人たちの思いが籠っていました。



右の写真は子どもたちが勉強をしている様子。

机の上の用紙には算数の問題が書かれていて、芸の細かさに感心しました。



◆ この日は袖志、尾和、上山、谷内の集落にビラ入れをしました。暑い盛りの時間帯で、外で見かける人は殆どなく、谷内での河川工事現場で働く人の姿が目立ちました。

◆ 2時前に京丹後市議会の総務常任委員会所属の議員さん8人が基地対策室の案内で（永井議員も説明者で同行）基地の現地視察に来られました。私も「一緒に聞かせて貰ってもいいですか？」と断ってついて行きました。

新人議員さんたちもしっかりと現場に足を運ばれることが大事だと思いました。(S)

抗議のシュプレコールで米軍基地前と自衛隊前で



9月の京丹後訪問の日程

9月10日(木) & 9月29日(火)です。

集合場所 鴨川五条大橋西詰 ガソリンスタンド前 集合時間 午前 8 30

連絡先 090-7108-5508 池田

配車の都合がありますので事前に連絡をお願いします。

米軍基地いらんちゃ フェスタ2020のご案内

山本 純

京丹後では、米軍人・軍属など 15 人の米軍関係者の新型コロナウイルスへの感染が確認されています（8月18日現在）。沖縄の米軍関係でのコロナ感染の拡大が示すように、それは在沖米軍内でのクラスターの発生の一部と見るべきものです。このような状況のなかで、今年の米軍基地いらんちゃフェスタ（11月8日開催予定）をどうするのか、8月9日に主催団体・協賛団体の打ち合わせ会議が開催されました。

この会議では、米軍基地いらんちゃフェスタ2020in 丹後の名称で、11月8日（日）に規模を縮小して（100人以下）京丹後での集会を開催することになりました。京丹後市は、PCR検査や感染者の隔離病床などコロナに対応する医療体制がほとんど存在しておらず、住民のコロナ感染拡大への不安感や京都・大阪などの大都市部よりもはるかに大きなものです。夏の海水浴場のいくつもが開設されず、夏祭りや秋の運動会などの地域イベントもほとんどが中止されている状況です。このような中で、例年のように700～800人規模の集会を開催することは難しいと地元の主催団体は判断しており、近畿連絡会や京都府民の会などの協賛団体もそれを了解したということです。

したがって、今年の米軍基地いらんちゃフェスタの本集会は、京丹後市以外からは代表参加となり、バスを準備して参加するという形にはできません。この合意を受けて、京都連絡会・近畿連絡会では米軍基地いらんちゃフェスタの一部という位置づけで京丹後での本集會に連携する京都市内での集会・企画を11月8日（日）に開催することを追求しています。詳細が確定したらあらためてご案内いたしますので、予定をあけておいてください。

8月「例会」のお知らせ

日時 8月27日(木) 18:30
場所 東山いきいき市民センター2階集会所
無料
テーマ 朝鮮戦争休戦から67年
東アジアの平和について考える
お話 山本 純さん（事務局長）

「街なかピラ」の報告と お知らせ

- 第99回 7月13日（月）大手筋商店街 7人
雨降りだったが、この商店街は人通りが多い。
◆米軍基地？京都やったらアカン！アカン！
◆自衛隊は○だけど、米軍基地は×や。
◆ピラを受け取った後で、話して来る人が多かった
- 第100回 7月28日（火）三条商店街 8人
◆「経ヶ岬の米軍基地でコロナが出たな～、テレビで言ってたよ」と声を掛けてきた人（男）
◆現状が分からないので読ませて貰います（女）
- 第101回 8月10日（月）御園橋商店街 8人
◆基地反対だったけど、今の中国を見てたら米軍の力が必要かな？でも頑張ってください（女）
◆人通りが少ない場所の方が、話し掛けやすい。

＝今後の日程です＝

- 第102回 8月24日（月）北野白梅町＜終了＞
第103回 9月14日（月）JR「山科駅」周辺
集合場所：JR「山科駅」前

- 第104回 9月25日（金）JR「二条駅」周辺 B
集合場所：JR「二条駅」西口
※ 時間はいずれも11:00～12:00です。
暑さ厳しいです。無理のない参加をよろしく。
連絡先 090-5672-1597（白井）

企 画

- 9/1(火)18:30 反弾圧京滋実 京都ユニオン
9/6(日)13:30 ーうつぼ公園集会→デモ
9/17(木)18:30 辺野古埋め立て反対実 タワー前街宣
9/19(土)16:30 19行動 市役所前
9/23(水)18:30 円山集会実 下京いきいき
9/26(土)14:00 No Base!「総会」 解放センター

9月「例会」の予告

日時 9月24日(木) 18:30
場所 ひとまち交流館 第五会議室
無料
テーマ パンデミックがあぶり出した
世界の労資対立と経済・政治情勢
お話 大湾 宗則さん（共同代表）

ウチナンチュの命は大切だ!

日米地位協定による米軍特権で沖縄におけるコロナ禍の蔓延は悲劇的で屈辱的でさえある。

日米地位協定の抜本改正を! 全ての基地を撤去せよ! 大湾 宗則

コロナ禍第一波が始まったとき、観光産業に頼る沖縄は緊張し、「自粛」した。県発表によれば、4/4 5人、4/7 12人そして小波が続いて4/30 1人、以上の通り4/30までの合計は143人、これを最後に5/1～7/7まで68日間、あの陽気で開放的な沖縄の人々が「命とくらし」を守るため新規感染者をゼロに封じ込めていた。

世界的なパンデミックで日米間の渡航は禁止期間。しかし米軍は特別だった。この時期、米軍は勤務交代期でカリフォルニアから岩国を経由して嘉手納基地に入管手続きなし、二週間の隔離はあるが、PCR検査もなく、直接嘉手納基地に移動してきた。これがまかり通る理由は、日米地位協定が保証した米軍特権である。

日米地位協定第9条の2は、「合衆国軍隊の構成員は、旅券及び査証に関する日本国の法令の適用から除外される」と。更に2013年(2015年一部修正)の日米合同委員会での確認は、「在日米軍と日本国の衛生当局間における情報交換について」で「人の感染症については指定感染症・新感染症など疾病を確認した場合は早期に通報する」と合意していた。しかし3/30米国防総省は、米軍の感染者については「非公開」を各部隊に通知した。

沖縄の悲劇と屈辱は米軍基地から始まった。



5/1～7/7まで68日間つづいた感染者ゼロは中断され、8/20現在、沖縄県民感染者総数は1,809人、4/30の合計感染者数

の実に12.65倍。米軍関係者は351人。この驚異的な変化は次の理由によっている。

7/4は米国の建国記念日。この日、うるま市のビーチ(肝高公園)や北谷の飲食街、嘉手納基地、キャンプ・フォスター各所でそれぞれ米国本土から移動してきた海兵隊員も含めて米軍関係者約60%、日本人その他40%(300人以上)がバーベキューパーティなどで飲めや歌えのどんちゃん騒ぎを開催した。

コロナ禍は、感染から発症まで平均5日。その結果はまず、7/7普天間基地で米軍感染者発生。7/9キャンプ・ハンセンで感染者。この事実について7/20在沖海兵隊政務外交部長ニール・オーウェンズ大佐は「キャンプ・ハンセンから普天間のクラスター発生は、米本土から移動してきた部隊だろう」と認めた。

米軍は、キャンプ・ハンセン、普天間基地はロック

ダウン(閉鎖)した、と県に連絡しているが、ゲートは開きっぱなしで関係者は出入り自由の状態が確認されている。

8/20現在の沖縄県の病床占有率は、97.6%、重症者用病床占有率は55.2%。この後の推移を見通すと危機的状況にある。怒りを表した沖縄県民は、米軍基地でクラスターが発生しているにもかかわらず外出自由な米軍に対して「フェンスはコロナ禍を遮(さえぎ)らない」「米軍基地を閉鎖しろ」と必死で声を上げている。

何でこんなことが起こっているのか? 他人事か?

日米地位協定による米軍の特権がもたらす基地被害はこれまでに何度も見せつけられてきた。これまで主に基地周辺で起こっていた米軍基地被害が、今回は米軍による「コロナ爆弾による無差別空爆」のように全県民の「命とくらし」を直撃しつつある。

沖縄の直近の基地被害は、コロナ禍以外に嘉手納・普天間基地での泡消火剤(PFOS/PFOA)による命の水汚染、嘉手納基地内での薬品倉庫火災、オスプレイの夜間早朝離発着、F35-Bの110デシベルを超える爆音が続いている。これら沖縄における基地被害は、「日本本土」で暮らす私たちと沖縄の人々の共通した困難や悩みの上に加重されている。沖縄の人々の「苦しみと屈辱」の上に私たちの生活があることに気付き、日米地位協定の抜本改正は、緊急の課題である。

沖縄経済再建は基地に頼らない生産の復興と政権打倒

沖縄経済は、致命的な打撃をこうむっている。国際通りや牧志の平和通りは80%の営業自粛でほとんどシッターが下ろされゴーストタウン化している。

米軍基地に豊かで平らな生産に適した土地を奪われた沖縄は、基地依存からの脱却の方策として観光産業に力を入れてきた。今回の米軍によるコロナ禍の蔓延は、過度に観光業に頼る「危険」が露呈された。やはり米軍基地を撤去して第一次、第二次生産手段を取り戻すことに励まなければならないことを教訓として残した。辺野古新基地建設を阻止し、普天間基地の即時沖縄への返還闘争を今一度気持ちを引き締めて取り組みを強化する以外に「命とくらし」を守る手立ては見つからない。

日米地位協定は、単なる「条文」で「壁」ではない。

在沖・在日米軍基地撤去闘争の真の「壁」は、日米地位協定の第25条・日米合同委員会での米軍に特権を与え、その見返りとして米軍基地(日米安保条約)を死守している日本政府こそが沖縄民衆や私達の「壁」である。この日本政府を倒すことが唯一の解決である。了